

平成28年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H28年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
1 市民への文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会の提供、きっかけづくり ②講座やワークショップの開催による文化芸術への理解・共感の向上 ③市民プラザでの芸術体験を通じた、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業の実施	□吉野町市民プラザ落語会 入場者数	180	195	B	桂歌丸落語会	【成果】 ・地域の方に積極的な参加を呼びかけ、鑑賞、講座事業とも参加者数は目標を上回りました。 ・当初計画の講座に加え、世界的に活躍するギタリストを招き演奏者向けクリニックを開催。新規顧客の誘致と施設認知度向上につながりました。 ・フェスティバル事業については、音楽に加え、フォトヨコハマにも参加しました。 ・「みんなの写真展」は南図書館と連携しワークショップの要素を加えた「ミッション・イン・ミナミ」として実施し多くの作品が寄せられました。 【課題】 ・落語会、ギターワークショップなど定番事業に比べ、子ども向け事業の集客が課題です。 ・クリスマスマーケット、コンサートの観客が時間帯により大きく変動しました。夕方の参加者が少なかったことから、今後は時間設定に工夫が必要です。	【評価できる点】 ・地域との関わりの中で従前から継続して行ってきた事業のほか、これまで施設に定着した事業が着実に引き継がれ実施されました。 ・また、これにとどまらず、指定管理者の強みを生かした追加事業や、新しい切り口による事業展開が見られ、創意工夫しながらこれまでにない取組にも着手する姿勢が随所に感じられました。 ・市の進めるイベントにも積極的に連携を仕掛け、助成金の獲得や広報等の中で効果を上げています。 ・クリスマス時期のマーケット・コンサートでは、ギャラリーとオープンスペースを活用し、館一体となった盛り上がりを生み出すとともに、同日開催の詩田公園のイベントとも連携し、地域の賑わいを創出しています。 【改善が必要と考えられる点】 ・新しい取組に積極的に着手するにあたり、今後の方向性を検討する中で、施設の設置目的を十分勘案したうえで、事業を取捨選択することも必要と考えられます。
		□みんなの写真展 応募点数	50	136	A			
		□わくわく音楽コンサート 入場者数	150	151	B			
		□ギターワークショップ入門編 参加者数	20	34	A			
		□ギターワークショップステップアップ編 参加者数	35	35	B			
		■吉野町スーパーギタークリニック - ROBBEN FORD - ロベン・フォードの開催	—	開催	—			
		□クリスマスコンサート 入場者数	200	3,326	A			
		□クリスマスアートマーケット 来場者数	600	3,326	A			
		・横浜音まつりへの参加 □公演入場者数	100	627	A			
		□WS参加者数	20	69	A			
□わたしのギャラリー開催	開催	開催	—					
2 次世代育成の取り組み	①次代を担う子どもたちが、文化芸術を通じて、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業の実施 ②子どもたちが、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験できる事業の実施 ③子ども同士がお互いの個性を尊重し合いながら、交流し、自己表現の大切さ、コミュニケーション力を高められる機会づくり ④横浜市芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用による、子どもたちの文化芸術体験機会の増進	□吉野町アート寺子屋 開催回数	6	6	B		【成果】 ・水辺の光コンサート参加希望団体が大幅に増えたため、ステージ数を追加しました。地域の子どもと大人が共に参加できる機会を提供しました。 ・アート寺子屋では、音楽、造形、映像、写真と多彩なプログラムを実施しました。 【課題】 ・子どもの日スペシャル全体の参加者が、目標を下回りました。内容に変化をつけて、新しい参加者を呼び込む工夫が必要です。 ・光のふるむなあと参加者数は、天候の影響が大きいことが課題です。	【評価できる点】 ・若い世代の参加者を対象に、様々なテーマで、アートや創作活動に触れる機会を作っています。 ・ワークショップ会場にギャラリーを活用し、参加者の作った作品をホワイエで展示する等、施設の機能を活用しながら、効果的に参加者の意欲を高める工夫が成されています。 ・文化芸術活動のすそ野を広げるためには、若い層の参加者がその魅力に触れる機会を増やし、次世代に広げていくことが重要と考えますので、引き続き、その観点を重視した取組を期待します。 【改善が必要と考えられる点】 ・様々な取組の中には、参加状況の芳しくないものも見受けられますので、企画内容や応募条件等を検証しながら、今後の計画を進めてください。
		□吉野町アート寺子屋 各参加者数	15~50人	4~110人	A			
		□子どもがつくる光のワークショップ(南まつり出店) 参加者数	200	200	B			
		□子どもたちの光のアート作品展(光のフロムナード) 来場者数	7500	6000	C			
		□子どもの日スペシャル 来場者数	300	261	C			
		□水辺の光コンサート 参加団体数	12	29	A			
		□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム 実施校数	5	5	B			
3 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成	①地域で文化活動を担う人材を育成するための事業の実施 ②市民が主体となって行う文化芸術活動の支援 ③市民団体とともに行う事業を通じた、施設と市民との良好な関係構築による、地域コミュニティの中核としての認知	□WEB制作講座初級 参加者数	20	4	C		【成果】 ・地域コミュニティの核となるべく、積極的に市民団体との連携を促進しました。その結果、「南区まちかど遺産写真展」や「運河パレード」と同時開催の「光のふるむなあとプレ事業」を初開催しました。 ・ウエルカムプラザ参加団体は目標を上回り、地域施設として認知されています。 ・ワークショップ修了者によるコンサートには、延べ500名近くの入場があり、地域に定着しています。 【課題】 ・WEB制作講座、映像講座は密接に関係することから統合して実施しましたが、参加者が目標を相当下回りました。内容や時期について、再検討します。 ・「おとバン」の入場者数が目標に達しませんでした。市民参加ライブの実施方法や広報が課題です。	【評価できる点】 ・地域との関係性の中で、様々な場面を捉え、文化芸術に関与する団体との連携、参加者の支援を行っている点が高く評価できます。 ・既存の取組を着実に引き継ぎつつ、地域の中での関係性を構築しながら、新規事業の開催にも関与しています。 【改善が必要と考えられる点】 ・WEB、映像制作講座については、5年間の事業計画の中で、指定管理者のノウハウを生かした提案として(I-6の「メディアプラットフォームの構築」の一環)計画されたものと理解していますので、今後計画的に取り組んでいくことを期待します。
		□映像制作講座初級 参加者数	20	(上記に含む)	—			
		■ワークショップ修了者フォローアップ事業の実施	実施	実施	—			
		□大岡川アートプロジェクト「光のふるむなあと」来場者数	(I-2再掲)					
		□クリスマスアートマーケット 来場者数	(I-1再掲)					
		□ポップスギターアンサンブルコンサート 入場者数	200	476	A			
		□クリスマスコンサート 入場者数	(I-1再掲)					
4 文化芸術を通じた地域のネットワーク形成への寄与、文化的コモンズ形成の牽引	①近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築努力及び関係性の強化 ②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等の実施 ③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役の担任	□町のにぎわいつながり計画の実施	通年実施	通年実施	—		【成果】 ・地域の一員として様々な企画に参加し、吉田新田350周年記念事業など大きな動きにつながりました。 ・クリスマスコンサートでは、学校や音楽団体との新たなつながりを築きました。 【課題】 ・文化的コモンズの可能性を広げるための取り組みは、一層推進していく必要があります。	【評価できる点】 ・各種文化事業の実施や活動の場の提供を通じ、地域の人が自由に参加できる文化活動の拠点としての基本的な役割を果たしています。 ・多様な主体との関わりの中で、地域の文化的活動を連携して展開したり、立ち上げの契機となる支援を行うなどの実践が行われています。 【改善が必要と考えられる点】 ・特になし
		□大岡川アートプロジェクト「光のふるむなあと」来場者数	(I-3再掲)					
		□南まつり出店 ワークショップ参加者数	(I-3再掲)					
		■南区施設間連携事業「ミッション・イン・ミナミ」「南区まちかど遺産写真展」	—	実施	—			
		□クリスマスアートマーケット 来場者数	(I-1再掲)					
5 地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進	①アートを通じて、多様性を認め合える豊かな地域の礎を築き、地域コミュニティの活性化と社会包摂を推進	□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム 実施校数	(I-2再掲)				【成果】 ・特別支援学校の生徒たちへ、生の音楽に触れる機会を届けました。 【課題】 ・外国人コミュニティへのアプローチは、今後の課題です。	【評価できる点】 ・特別支援学校での学校プログラムの実施、多分野の団体との連携によるイベントの実施を通じ、多様な主体・参加者が文化的な活動に関与する一助となっています。 【改善が必要と考えられる点】 ・多様な主体との関わりは、現状、アウトリーチ先や事業連携の相手として関係するに止まっているため、今後は、事業や運営面、環境整備の面で、より主体的にアプローチする余地があると感じます。
		□大岡川アートプロジェクト「光のふるむなあと」来場者数	(I-3再掲)					
		□表現する楽しさと個性を認め合い共感する力を育むアートプログラムを実施しました						
6 情報提供及び広報・プロモーション	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、現在の市民プラザの“弱み”である情報提供・広報プロモーション力を強化 ②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トーン&マナーの統一を図り、よりわかり易く利用しやすいものにリニューアル ③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションの実施 ④地域の人材を育成し、市域全体のメディア・プラットフォームを設立	□tvk番組での事業告知・報告等の回数	月1回	月1回	B		【成果】 ・tvk番組内に告知コーナーを設けるなど、共同事業体の強みを生かした広報を実現できました。 ・新規にスタッフによるfacebookページを立ち上げました。 【課題】 ・メディアプラットフォーム設立に向けて、環境整備が課題です。	【評価できる点】 ・WEBページがリニューアルされ、各施設の主催情報はもちろん、利用者の活動もトピックとして掲載する等、施設PRと活動支援の両面で、WEBサイトが活用されています。 【改善が必要と考えられる点】 ・施設の認知度を高めるための広報営業活動は、基本的な取組として、事業及び貸館を通じて、効果的に行っていく必要があります。 ・提案事項である、「メディアプラットフォームの構築」についての更なる取組に期待します。
		・WEBページのリニューアル	4月	4月	—			
		□立ち上げ	実施	実施	—			
		□案内ホールと3館連携ページを作成	実施	実施	—			
		□動画ページを新設	実施	準備	—			
		□ブログをリニューアル	実施	準備	—			
		□クロスメディア広報の実施	実施	実施	—			
		□プラザ催し物案内 年間発行回数	12	12	B			
		■メディアプラットフォームを市民プラザホームページ内に構築	実施	準備	—			
		■メディアプラットフォームに様々なコンテンツを提供するための実証講座を実施	実施	実施	—			

平成28年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H28年度計画		実施状況			評価	
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
1 市民の文化芸術活動の発表・創作活動を始めとする多様な市民利用への施設の提供	1	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービスの提供	■スタッフ間の十分な情報共有	実施	実施	グループメール、カレンダー、連絡ノート等の活用	【成果】 ・グループメール、グループカレンダーを活用し、情報を共有しました。 ・高館共通割引「ギャラリーU25プラン」の導入に加え、平日午前のスタジオ利用促進企画「グランドピアノと過ごす朝」を実施しました。 【課題】 ・ギャラリー利用率向上が課題です。	【評価できる点】 ・指定管理者への切り替え時にも特に大きなトラブルもなく、スムーズな運営が継続されました。 ・全体としては、目標に近い施設利用が行われています。 ・若年層をターゲットとしたギャラリーのU25割引、スタジオAの空き時間を活用したピアノ時間貸しや、実態に合った定員の変更等、利用者拡大に向けた取組に着手しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・ギャラリーについては、多目的な用途での利用を受け入れることで、利用拡大に努めているところですが、基本は、本来の目的の利用者を増やすことが重要です。引き続き、導入したU25プランなども活用しながら、新しい展示系利用者の獲得につなげていくことを期待します。
	2	②利用率が高まる工夫、新規利用者を増やす工夫の実施、目標利用率	■相談・助言、施設見学の対応	実施	実施	電話、来館、メールの相談や見学は随時受付		
	3		■「U25割引制度」近隣文化団体、学校等への広報強化	実施	実施	若い利用者へのアピールのため、岩間市民プラザと両館共通割引制度の導入		
	4		■スタジオA利用促進企画「グランドピアノと過ごす朝」実施	—	実施	平日午前にスタジオを1時間単位で利用できる事業を開始。新規利用者を誘致しました。		
	5		■営業担当者によるPR活動	実施	実施	地域活動団体、企業等へのPR実施		
		□目標利用率(%) ホール(日) 93 ギャラリー(日) 54 会議室(コマ) 52 スタジオ(コマ:A~C平均) 76						
2 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデア/ノウハウの一層の活用	6	①来館者・利用者からの要望・意見を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげる	■要望・苦情は全スタッフで共有	実施	実施	メールや連絡ノートで情報共有	【成果】 ・利用日が近づいてからのホール利用に柔軟に対応するなど、お客様の要望に応じてサービスを向上させました。 ・お客様ご意見箱を設置しました。 【課題】 ・ロビーでユーストリーム放送の実施に向けて、環境整備が課題です。	【評価できる点】 ・エントランス入り口前の手書き案内ボード設置、エントランス及び2階ロビー周りのチャシラック等の配置換え等を実施したほか、小さなことも含め随時工夫を行っており、できることはやってみようという、積極的なサービス向上の姿勢が感じられます。 【改善が必要と考えられる点】 ・ロビーでのユーストリーム放送の実施については、指定管理者のノウハウを生かした提案事項ですので、引き続き検討を進めてください。
	7		■優先順位を決め順次取り組み	実施	実施	緊急時には臨時職員会議を開催し取り組み		
	8		■対応後に検証、改善へ	実施	実施	検証し、より良い改善を実施		
	9	②対象に応じた情報収集のツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づく、サービスの向上	■ご意見箱、受け付け時、公演アンケートなどを通じ、利用者ニーズを把握	実施	実施	ご意見箱、アンケート、受付時の対応などでニーズを把握		
10	③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組	■ロビーでユーストリーム放送の実施	実施	準備	実施に向けた打合せを実施			
3 組織的な施設運営	11	①適切な運営組織体制と人材の配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付パートスタッフ5) ②組織内の情報共有及び主要人財の能力確保 組織的な施設運営のための職務の効率化や職員間の情報共有、業務改善のための会議を定期的実施するとともに、職員の能力確保のためOJT及び定期的な研修等を実施	□適所に必要の人材の配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付パートスタッフ5)	実施	実施	館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付パートスタッフ5	【成果】 ・共同事業体各社の得意分野を運営に活かすため、適所に必要の人材を配置しました。 ・定例会議に加え、両プラザ館長・副館長会、関内ホールとの3館連携会議を実施しました。 【課題】 ・長期的な人材育成が課題です。	【評価できる点】 ・休館日等を活用し、運営上の課題等をテーマ設定した全体職員研修を行うなど、職員のスキルやモチベーションの向上を図るため工夫した取組が行われています。 ・バンドリングで管理する施設間連携のための情報共有の場を設けています。 【改善が必要と考えられる点】 ・各職員の業務やローテーションの関係で、パートスタッフを含め個々人の課題を踏まえたスキルアップや情報共有には、それなりの工夫が必要と考えられます。計画的にプラン、スケジュールを組みながら、組織体制の強化、人材育成に取り組むことを期待します。
	12		□朝礼	1回/日	1回/日	B		
	13		□職員会議	1回/月	1回/月	B		
	14		□運営会議	4回/年	4回/年	B		
	15		□企画検討会 随時	随時実施	随時実施	—		
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組	16	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組の実施	■個人情報施錠管理、パスワードの徹底	実施	実施	個人情報施錠管理、パスワードの徹底	【成果】 ・個人情報の施錠管理・パスワードの徹底を行いました。 ・利用許可書取り違え事故の再発を防ぐため、マニュアルを改訂し、繰り返し研修を実施しました。 【課題】 ・個人情報漏洩防止には、引き続き取り組んでいきます。	【評価できる点】 ・休館日等を活用し、職員研修を行っています。 【改善が必要と考えられる点】 ・利用許可書発行時の本人確認、広報媒体等への掲載情報確認、その他の個人情報の取扱い等については、初心に立ち返り、常に慎重に情報管理を行ってください。
	17		■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に添い対応	実施	実施	「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」にそって対応するための研修を実施		
	18		・人権に配慮した運営、接遇	実施	実施	人権に配慮した運営、接遇を行うための研修を実施		
	19		■文化施設としての快適性を確保しつつ、節電	実施	実施	「管理標準」を活用		
	20		■中小企業への優先発注	実施	実施	市内中小企業優先発注		

平成28年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H28年度計画		実施状況			評価		
Ⅲ維持管理目標		指定管理者提案(要旨)		達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 施設及び設備の維持保全及び管理	1	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施	■点検時に発見した不具合を適切に補修し施設の安全性を確保	実施	実施	実施	日常点検の実施と不具合対応	【成果】 ・日常点検・定期点検で発見した不具合に対応し、安全・安心な施設を保ちました。 ・急な設備不具合には利用室場の振替など柔軟に対応し、お客様が予定どおり利用できるようにしました。 【課題】 ・部品供給終了機材の更新が課題です。	【評価できる点】 ・必要に応じ本市と随時相談・調整を行いつつ、施設・設備の保全管理を適切に行っています。 【改善が必要と考えられる点】 ・引き続き適切な日常・定期点検を行い、施設設備の安全な運営管理と延命化に努めてください。
	2		■法廷点検を計画通り実施し不具合は確実に修繕	実施	実施	実施	法定点検実施、不具合修繕		
	3	②保守点検、備品管理、環境維持の実施	□月1～2回の施設点検・職員研修日数	月1～2回	月1～2回	B			
	4		□エレベーター点検回数	月1回	月2回	A			
	5		■業務の基準に則り物品管理	実施	実施	実施	物品管理実施		
	6		■利用実態に即した満足度を向上させる清掃	実施	実施	実施	利用状況を共有し満足度を向上させる清掃		
	7		■年間排出計画を定めて廃棄物の発生抑制	実施	実施	実施	ルート回収参加		
2 小破修繕の着実な実行	8	①小破修繕の取組	□巡回点検回数	1回/日	1回/日	B		【成果】 ・小破修繕は、お客様の安全にかかわる案件から優先的に実施しました。 【課題】 ・舞台音響・照明など大規模修繕について、設置者と協議します。	【評価できる点】 ・不具合に対する修繕のほか、スタジオ内線電話への受電時発光装置取付等、指定管理者として運営上必要と判断した修繕をできる範囲で取り組んでいます。 【改善が必要と考えられる点】 ・特に無し
	9		■優先順位を付け、設置者と協議の上修繕を実施	実施	実施	実施	お客様の安全や利用に直結する事項を優先し修繕		
	10		■更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	実施	実施	横浜市施工工事・非常用放送設備、一般照明LED化のための協議・調整		
3 事故予防及び緊急時の対応	11	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施	■消防設備・避難経路の案内図を掲示し来館者へ周知	実施	実施	実施	案内図が常時視認できるように表示	【成果】 ・事故発生時には横浜市と密に連絡し、問題解決にあたりました。 【課題】 ・古い設備を使用していることにより、思わぬ事故が発生するリスクがあります。	【評価できる点】 ・不具合発生時の連絡が迅速に行われています。
	12		■施設設備不具合には迅速に対応し故障・停止を未然に防止	実施	実施	実施	施設設備不具合には迅速に対応		
	13		■緊急時連絡網の作成、横浜市との連携の徹底	実施	実施	実施	横浜市との密な連絡		
	14		■館内巡回により日常の衛生管理を徹底	実施	実施	実施	定期巡回や利用点検時に衛生管理		
4 防災に対する取組	15	①日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施	■災害時に「人命尊重」「生命の安全確保」を第一に対応	実施	実施	実施	「人命尊重」「生命の安全確保」を第一に対応できる体制づくり	【成果】 ・危機管理マニュアル改定、非常物品の更新を行い、非常時に備えました。 ・南消防署の指導により、救命法を含む防災訓練を実施しました。 【課題】 ・限られた人員で災害などに対応できるよう、今後も繰り返し訓練することが必要です。	【評価できる点】 ・スタッフ全員を対象に、防災訓練・救命講習等を行い、危機管理意識を高め災害発生に備えています。 【改善が必要と考えられる点】 ・特になし
	16		■危機管理マニュアル整備	実施	実施	実施	ハンディな危機管理マニュアル新規作成		
	17		■防火・防災管理者、統括防火管理者の選任及び吉野ポンプ場と連携した活動	実施	実施	実施	ポンプ場と合同防災訓練実施		
	18		■非常用品を常備し、いつでも使用できるように管理	実施	実施	実施	非常物品管理、入替		
	19		□防災訓練実施回数	2回/年	2回/年	B	スタッフ全員対象に実施		
	追加		□救命講習実施	実施	実施	実施	スタッフ全員対象に実施		
5 その他管理に関する事項	21	■許認可および届出の適切な実施	■目的外使用許可手続	実施	実施	実施	許認可および届出の適切な実施(興行場営業許可手続、防火管理者・消防計画届出)	【成果】 ・管理者交代にともない、興行場営業許可手続、防火管理者・消防計画届出を行いました。 ・人権研修を実施し、実践しています。 【課題】 ・法律や各種基準の改定を把握し、適切な対応をすることが必要です。	【評価できる点】 ・必要な手続等が適切に行われています。 【改善が必要と考えられる点】 ・特になし
	22		■名札の着用	実施	実施	実施	全スタッフが名札着用		
	23		■人権の尊重、人権講習会等に参加	実施	実施	実施	人権研修実施		
	24		■騒音・利用者迷惑行為に関する近隣対策の実施	実施	実施	実施	工事に際し近隣に挨拶・説明		
	25		■書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	実施	実施	書類の保存期間を定め、保管・管理		
	26		■行政機関が制定する規程等の遵守、法律制定・改正時の対応	実施	実施	実施	行政不服審査法の改定に対応し規程を整えました		

評価項目		H28年度計画		実施状況			評価		
Ⅳ収支		指定管理者提案(要旨)		達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造及び収支バランス	1	■民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施	■民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施	実施	実施	実施	事業ごとに採算ラインを設定。グッズ販売など収入確保策を実施しました	【成果】 ・民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施を行いました。 【課題】 ・収支の改善が課題です。	【評価できる点】 ・指定管理初年度の予算執行について、経費削減の視点を持ちながら、適切に執行管理が行われています。 【改善が必要と考えられる点】 ・収入面では、主にその他収入(協賛金・助成金)の欠損が、支出面では主に人件費と事務費の超過が全体の収支状況に影響しています。
	2		■事業収支の精査	実施	実施	実施	収支はマイナスとなりましたが、指定管理期間全体を通して新たな収入を増やしプラスとする予定です		
2 指定管理料にのみ依存しない収入構造	3	①指定管理料のみに依存しない収入確保の取組	■利用率向上による収入確保	実施	実施	実施	利用日が近づいてからの予約にも柔軟に対応しました	【成果】 ・利用日が近づいてからの予約にも柔軟に対応し、利用料収入は予算を上回りました。 【課題】 ・協賛金の獲得や商品サンプリングの実施に向けた調整が課題です。	【評価できる点】 ・時間単価の高いホールの利用が伸びたこともあり、利用料金収入が予算を上回っています。 ・インフォメーション紙面への広告掲載枠の設置等の収入確保に向けた実践が見られます。 【改善が必要と考えられる点】 ・協賛金・助成金の獲得については指定管理者のノウハウを生かせる分野として提案されていますので、一層の取組を期待します。
	4		□目標利用率(再掲)	(Ⅱ-1再掲)					
	5		■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動の実施	実施	実施	実施	営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動の実施、催し物案内広告掲載		
3 経費削減及び効率的運営努力	6	①経費削減等効果的運営の取組	■空調や照明を節減し、光熱水費削減	実施	実施	実施	「管理標準」活用	【成果】 ・「管理標準」を活用し、節電・節水を行いました。 【課題】 ・快適性と光熱水費削減のバランスが課題です。	【評価できる点】 ・燃料単価が下がったこともあり、光熱水費を中心に経費削減が見られました。 【改善が必要と考えられる点】 ・引き続き適切な執行を心がけてください。
	7		■職員全員が削減意識を持ち事務事業費の経費削減	実施	実施	実施	見積もり比較による物品選定 発注先の見直し、事業チラシなど印刷物の必要枚数見直し		

平成28年度 吉野町市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目	H28年度計画			実施状況		評価		
	その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
	1	※市民プラザ2館を指定管理する利点を生かした管理運営の取組 ・施設共同事業の実施による文化活動団体の交流拡大と地域文化の担い手育成 ・安全、安心、快適な施設管理と長寿命化への対応(2施設の建物管理を総合的に行うことで、効率的で迅速な対応を実現)等	・相互の人員協力により、効率的に運営 ・地域で文化活動を担う人材を育成するための映像講座を2館で開講 ・共通割引制度を導入し、広いエリアで若年層へプラザの認知度向上を目指す ・同規模、同程度の経過年数2館の建物管理を総合的に行うことで、合理的な施設管理を実現	実施	実施	・日常的に情報を共有し、人員協力により事業等の効率的な運営を行いました。 ・地域文化の担い手育成を目標とした「映像制作講座」は初年度のため、両館とも初級編を開催。 ・共通割引制度「U25プラン」を導入。若い利用者への全体的なアピールを開始しました。 ・同規模・同程度の経過年数2館で設備管理についての問題点を共有し、早めに対応することができました。	【成果】 ・2館の相互協力により効率的な運営を行いました。人員応援以外にも、CM制作や企画立案などの作業を両プラザの職員が補完し合うことで、外部委託経費を削減することができました。 【課題】 ・「映像講座」「WEB講座」は、次年度以降、プラザごとで別レベルの講座を行うことで裾野を拡大します。 ・「U25プラン」の利用者誘致が課題です。	【評価できる点】 ・両プラザ連携した管理運営のための体制作りが行われました。 【改善が必要と考えられる点】 ・両施設連携・補完しあった事業・運営・管理各方面の取組を進めてください。 ・各施設の良い取組等については、他の施設で参考にするなど、相互に運営の質の向上に繋げられるような情報共有が行われることを期待します。

評価項目	H28年度計画			実施状況		評価		
	総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
	1						新たな運営主体である共同企業体の強みを発揮できる体制を整え、さらなる地域文化の振興に取り組みました。クロスメディア広報の実施や、世界的に活躍するギタリストのクリニックなどにより、広報発信力、コミュニケーション力の強化を図りました。 近隣施設・地域団体との新たな連携事業を実施するなど、地域性・施設の特徴を打ち出した地域との連携を強化しました。新規に両プラザ共通の割引制度を導入、新しいジャンルのワークショップを実施し、子どもをはじめとした若い世代にアプローチしました。	・市民プラザの指定管理導入初年度で、指定管理者としても最初の年ということもあり、随時、模索しながら業務体制を整えていく面も見受けられましたが、何よりも、地域に根差した施設の経過を考慮しながら、立ち上げをスムーズに行うことができた点を、評価したいと思います。 ・この施設でこれまで取り組んできた、施設内外で地域の様々な主体との連携・協力による事業展開を踏まえつつ、指定管理者の創意工夫で、様々な新規の取組に手を付け始めるなど、期待できる部分もある一方で、施設の本分に照らし一定の取捨選択も必要と感じる面もありました。 ・サービス向上や利用促進などの面では、できることはまずやってみよう、積極的な姿勢が、様々な場面で感じられました。 ・利用促進の面では、大きな改善には至っていませんが、工夫がすこしずつ成果に結びつく面も見られましたので、今後もさらなる好転に向け、検討と実践を継続していただきたいと思います。 ・今後はさらに施設の現状と課題を分析しながら、一歩踏み込んだ取組や、2施設一体公募を行ったメリットを発揮できるよう、検討・取組を進めていくことを期待します。